

船舶事故調査報告書

平成22年2月4日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 横山 鐵 男（部会長）
 委員 山本 哲 也
 委員 根本 美 奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成21年5月26日10時40分ごろ本船が発見された。）
発生場所	不明（本船の発見場所は、三重県志摩市安乗埼灯台南南西方600m付近（概位 北緯34°21.6′ 東経136°54.4′）の消波ブロック上であった。）
事故調査の経過	平成21年5月27日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 ^{こうさき} 甲崎丸、1.0トン ME3-53398（漁船登録番号）、個人所有 6.92m(Lr)×1.73m×0.49m、FRP ディーゼル機関、漁船法馬力数35、昭和59年6月30日
乗組員等に関する情報	船長 男性 82歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和51年4月9日 免許証交付日 平成18年3月15日 （平成23年12月5日まで有効）
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	不詳
事故の経過	本船は、平成21年5月26日04時ごろ、船長1人が乗り組み、すずき漁の目的で、三重県的矢港堅子浦の奥にある、通称堅子漁港（以下「堅子漁港」という。）を出港して、安乗埼沖の漁場に向かった。 10時30分ごろ、畑仕事から帰宅した船長の家族は、ふだんは08時30分ごろには帰っているはずの船長が、帰宅していないことを知った。船長の家族は、堅子漁港に本船が無いことや、船長の携帯電話にかけても応答がないことから、何かあったと思い、船長の友人たちに電話したが、彼らも船長が帰宅していると思っていたということを知った。 10時40分ごろ、安乗埼付近を通りかかった漁船船長が、安乗埼灯台の南南西方約600mの消波ブロックに乗り揚げている本船を発見し、海水がはられた船尾魚倉に、上半身が漬かった状態で倒れていた船長を救助して、安乗漁港に搬送した。 船長は、救急車で病院に運ばれたが死亡が確認され、死因は溺水と検案された。

気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北西、風力 2、視界 良好 海象：平穏	
その他の事項	船長は日ごろ、体調不良を訴えてはいなかった。 本船が発見されたとき、機関は停止していた。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	不明 不明 不明 死因は溺死であった。 船長は、海水がはられた船尾魚倉に倒れこんで溺死した可能性があると考えられる。 船長が溺死した状況については、目撃者がいないことから、明らかにすることはできなかった。
原因	本事故は、本船が安乗埼灯台沖において、船長が、海水がはられた船尾魚倉に倒れこんで溺死したため、発生した可能性があると考えられる。	